

プレゼンテーションの論点等について

(1) 情報の共有・一元化について

1. 高齢者薬物療法適正化チームの形成（資料1）
 - 適正化チームにおける情報提供や提案のあり方
 - 適正化チームの各構成員の役割と連携のあり方
 - 退院時の薬局への引き継ぎ等の情報提供のあり方
2. 電子版お薬手帳の活用（資料2）
 - 共有する情報の内容
 - 薬局のみならず、医療機関・在宅等の医療者含めた情報共有のあり方
 - 多職種を含めた情報の一元的・継続的な把握に向けた更なる課題（地域医療情報ネットワーク等の活用）

(2) その他

1. 高齢者に対する向精神薬の安全な薬物療法（資料3）
 - 専門医とかかりつけ医の連携のあり方
 - 減量・中止の際の注意点（再発リスクの可能性）
 - 高齢者でのケアの改善や非薬物的なアプローチの活用
2. 高齢者適正使用に関する製薬企業の取り組み（資料4）
 - 製薬企業に求められる医療機関、患者への情報提供の内容、方法
 - 資材、パッケージ、剤形に関する工夫
 - 高齢者に適した用法・用量の情報提供に資する調査研究のあり方